OZONE

取扱説明書

株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度はOZONEをお買い上げ頂き誠に有難うございます。商品の性能を十分に発揮させ、末永くお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますのでお読みになった後は大切に保存して下さい。

ご使用になる前に取扱説明書をお読み下さい。

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認して下さい。異常がある場合は販売店にご相談下さい。
2. 感電防止の為、使用中は部品に触れないで下さい。また、電球/ヒューズ交換の為に本体を開く場合、必ず先に電源プラグを抜いて下さい。また電球は表面が高温になることがありますのでご注意下さい。
3. 本体をトラスに吊るす場合、対応するクランプ(耐荷重10kg以上)を使用し、ブラケットのネジを締め、本体をトラスにしっかりと固定して下さい。その際は、本体の周囲に十分なスペースをとって下さい。また室温が40℃を超える場所での使用は避けてください。
4. 当製品は屋内使用専用です。屋外では使えません。
5. 当製品は耐水性ではありませんので水がかからないようご注意下さい。また液体の入った容器（花瓶など）を本体の上に置かないで下さい。
6. 本体は通気性の良い所に設置し、周囲に可燃物や爆発物を置かないようご注意下さい。
7. 100Vにてご使用ください。
8. 使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないで下さい。
9. ケーブル、レンズなどに傷がついた場合は交換する必要があります。
10. 故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡して下さい。無断で機材を開けられた場合、保証の対象外となることがあります。
11. 本体を揺り動かさないで下さい。

仕様

電圧: AC 100V，50Hz
ヒューズ: 5A 20mm
電球:ELC 24V/250W
寸法: 24W×15H×27D×cm
重量: 7.1 kg

設置方法

本機は直立させた状態でも使用可能ですが、安全のためクランプとセーフティー・ケーブルを使用して本体を設置して頂くことをお勧め致します。

機能の選択

付属の電源プラグを接続すると、本体が背面の赤色LEDが点灯します。5種類のモード「DMX」「スレーブ」「マニュアル」「オート」「マニュアル・プログラム」を選択する事が出来ます。モードの切り替えにはディップスイッチを使用します。OZONEはSTAGE EVOLUTION　DMX OPERATOR等のDMXコントローラーで操作が可能です。また、スタンドアローン(単体)モードでの使用もできます。

機能	ディップスイッチ									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
DMXモード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
オートモード	ON	OFF								ON
マニュアル･プログラムモード	ON	ON	OFF							ON

スタンドアローン(単体)モード

1. マニュアル・プログラムモード

ディップスイッチの1、2、10を「ON」の状態にすると「マニュアル・プログラム」モードになります。本体背面右のボタンを1度押すとカラーホイールが1ステップ更新され、次のカラーを投影します。

2. オートモード

ディップスイッチの1、10を「ON」の状態にすると「オート」モードになります。カラーホイールが内部プログラムに従って動作します。

DMXモード

DMXコントローラーとOZONEを3ピンDMX（XLR）ケーブルで接続します。OZONEは2チャンネルのDMX信号にて制御することが出来ます。2チャンネルのDMX信号のコントロール値に対する動作は下記を参照にして下さい。アドレスの設定方法は巻末のディップスイッチのチャンネル設定を参考にして下さい。

CH1 COLOR		CH2 DIMMER
DMX値	色	0-255　0～100%
0-14	暗転	
15-27	白	
28-40	桃	
41-55	黄緑	
56-70	青	
71-83	黄	
84-97	紫	
98-111	青/黄	
112-125	緑	
126-139	橙	
140-154	青緑	
155-167	桃	
168-178	赤	
179-255	色回転 速度切替	

ヒューズ取り替え

電源に接続しても本体が作動しない場合、ヒューズが切れている可能性があります。

1. ヒューズを取り替える際は、必ず本体の主電源を切って下さい。
2. ヒューズカバーのねじを外します。
3. 古いヒューズを取り外します。
4. 新しいヒューズをホルダーの中に入れます。
5. ヒューズカバーを閉じて、ねじを締めます。

※取り替えても本体が正常に作動しない場合、販売店又は正規代理店へ連絡して下さい。

電球交換

1. 電源プラグを抜き、約15分間待機して本体の温度を冷ましてください。
2. 本体上部の電球カバーを固定しているネジを取り外します。
3. 本体から電球をソケットごと静かに取り出します。
4. ソケットに新しい電球（同一規格品）を設置してください。
5. 新しい電球とソケットを本体に設置し、電球カバーのネジを締めます。

※付属の電球ELCは定格寿命50時間前後となりますが電球のON/OFFの頻度、使用時の振動などで電球寿命は異なります。50時間の動作を保障するものではなく、あくまでも目安とお考えください。交換される場合は長寿命タイプの電球のご使用をお薦め致します。

クリーニング

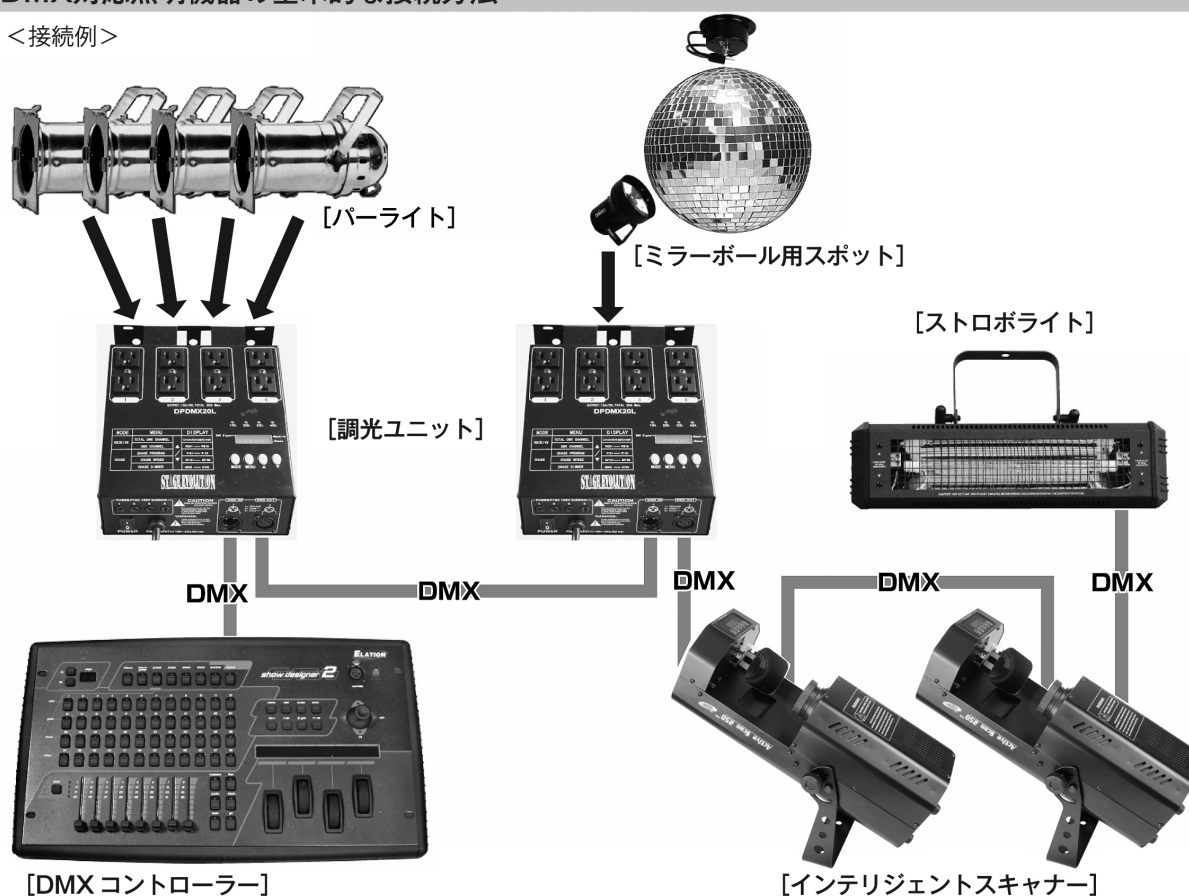
1.	本体を清掃する場合、湿らせた柔らかい布をご使用ください。
2.	レンズおよびミラーを清掃する際は機材を傷めないよう細心の注意が必要です。レンズ、ミラーを素手で触らないようご注意ください。
3.	清掃後は本体を充分に乾燥させて下さい。本体に水分が付着したまま電源を入れないで下さい。

トラブルシューティング

故障内容	チェック項目
本体が機能しない	1. 電源が「ON」になっているか確認して下さい。 2. ヒューズが飛んでいないか確認して下さい。

上記の方法を試してみてもまだ故障していると思われる場合は販売店又は正規代理店へご連絡下さい。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

＜接続例＞

● DMX対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルにはDMXケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX対応のスモークマシーンも同様に接続可能です。

● DMX対応の照明機器を接続する順番は決まっていませんが、なるべく距離が長くならない様に配線を行って下さい(※)。

● 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト(PAR64やPAR38等)の明るさを調節します。

● インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとって下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※ー長距離の配線についてー

50mを超えるような配線になる場合、DMX信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続されたDMX対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

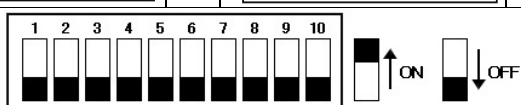
	ターミネーターは、HOSA　DMT-414をお薦め致します。
	自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、 120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。

ディップスイッチによるチャンネル設定

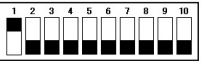
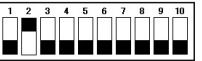
ディップスイッチを使用してチャンネル設定を行う照明機器のチャンネル設定は、下記の表を参照して下さい。設定方法についての詳細につきましては次項の『ディップスイッチによる DMX チャンネルの設定方法（詳細）』を参照して下さい。

Ch	ディップ スイッチ設定						
1		19		37		55	
2		20		38		56	
3		21		39		57	
4		22		40		58	
5		23		41		59	
6		24		42		60	
7		25		43		61	
8		26		44		62	
9		27		45		63	
10		28		46		64	
11		29		47		・・・	
12		30		48		128	
13		31		49		・・・	
14		32		50		256	
15		33		51		・・・	
16		34		52		512	
17		35		53			
18		36		54			

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

ON OFF

ディップスイッチによる DMX チャンネルの設定方法（詳細）

DMX のスタートチャンネルをディップスイッチで決めるタイプはすべて二進法で計算されています。

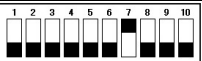
＜二進法とはなにか？＞

通常私たちの生活では十進法が使用されています。十進法とは，０～９を使って数字を表わし，10 になったら位を上げるという考え方です。 二進法とは，０もしくは１を使って数字を表わし，２になったら位を上げるという考え方です。

例をあげると

十進法	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
二進法	0	1	10	11	100	101	110	111	1000	1001	1010	1011

この様になり、二進法計算のディップスイッチでチャンネルを決める場合、『０＝OFF　1＝ON』の考え方になります。

スイッチの設定上　ON / OFF の並びが左右逆での繰り上げで設定となりますが、スイッチで表記した場合

十進法	0	1	2	3	4
二進法	0	1	10	11	100
ディップスイッチ					

十進法	5	6	7	8	9
二進法	101	110	111	1000	1001
ディップスイッチ					

この様になります。

また、位の大きいチャンネルを設定する場合、下記の方法を覚えておくと簡単にチャンネルの設定が可能となります。

各番号のスイッチのみ ON にした場合

十進法	1	2	4	8	16
二進法	1	10	100	1000	10000
ディップスイッチ					

十進法	32	64	128	256	512
二進法	100000	1000000	10000000	100000000	1000000000
ディップスイッチ					

となりますが、通常の 10 進法と同様に、足し算ですべてのチャンネルを即座に計算することが可能となります。またその場合、全ての計算において、設定したいチャンネル数を上記の『各番号のスイッチのみを ON にした場合』にある、1，2，4，8，16，32，64，128，256 の数字に分解して考える必要があります。

例にとってみると

チャンネルを 40 に設定したい場合：　40 ＝ 32 ＋ 8 ＝　＋　＝

チャンネルを 62 に設定したい場合：　62 ＝ 32 ＋ 16 ＋ 8 ＋ 4 ＋ 2

この様にして、簡単にチャンネル数を設定する事が可能となります。

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。 RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。